



# 水マス検定 9月（下水道編）



鶴見川流域水マス博士になろう！

鶴見川流域では、市民・企業・行政が力を合わせて、安全で、生きものがたくさんくらす素敵な街や水辺を作ろうと、水マス（鶴見川流域水マスタープランの略称）が進められています。そんな水マスをみなさんに知ってもらうために、スタッフが問題を作っています。

「9月10日は下水道の日」にちなんで、今月のテーマは「下水道」、出題者はスタッフの小林範和です。みなさんチャレンジしてくださいね。

※現在、鶴見川流域センターでは館内での配布を休止しているため、WEB上での特別配信をさせていただきます。くわしいルールは、2ページ目をご覧ください。

ヒントは、以下のパンフレットを参考にしてください。

- ・バクさんが案内する鶴見川流 BOOK [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000047228.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000047228.pdf)
- ・水マス(大人版) [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000640154.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000640154.pdf)
- ・水マス(子ども版) [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000643586.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000643586.pdf)

Q9-1 洪水の危険からみんなの暮らしを守るため、鶴見川流域では流域一体となった治水対策「総合治水対策」に取り組んできました。今年で40年を迎える総合治水対策には、3つの柱があります。その3つの柱は、次のうちどれでしょうか？

ヒント→水マス(大人版)・P6

(答え： )

- A：<河川対策><下水道対策><流域対策>
- B：<総合対策><下水道対策><治水対策>
- C：<河川対策><上水道対策><下水道対策>

Q9-2 総合治水対策の<下水道対策>の一つに、「ポンプ場の整備」があります。ポンプ場の役割は、次のうちどれでしょうか？

ヒント→流域BOOK・P15

(答え： )

- A：川の水が酸素不足になって、お魚が死なないように、ポンプで空気を送りこむ。
- B：流域に降った雨が自然に川へ排水できなくなって、水路があふれたり、マンホールのふたから水があふれたりすることを防ぐため、水をポンプで川に排出する。
- C：水不足で田んぼの水がなくならないよう、川の水をポンプでくんで、田んぼに流す。

Q9-3 総合治水対策の<下水道対策>の一つに、「雨水貯留施設の整備」があります。雨水貯留施設とはどんなものでしょうか？

ヒント→流域BOOK・P15

(答え： )

- A：流域に降った雨を一時的にため、ゆっくりと川に流す。
- B：流域に降った雨を一時的にため、地面にしみこませる。
- C：大雨で川の水位が上がり、ポンプ場から川に排水できない時に、街に降った雨を一時的にためておく。

Q9-4 鶴見川流域にある雨水貯留施設の一つに、「新羽末広雨水幹線」があります。ここには、横浜スタジアムで何杯分の水をためることができるでしょうか？

ヒント→流域BOOK・P15

(答え： )

- A：1杯分 B：1.3杯分 C：2杯

Q9-5 下水道には、Q9-1～4にあるように、水害を防ぐ役割のほかに、もう一つ大切な役割があります。それは、次のうちどれでしょうか？

ヒント→流域BOOK・P10

(答え： )

A：生活排水をきれいにしてから鶴見川に返し、川の水質をよくする。

B：安全な飲み水を、街に届ける。

C：ごみのリサイクルを進める。

Q9-6 水マスの5つの取り組みの中には、「昔のようにきれいで豊かな川の流れを取り戻す」という、下水道が深くかかわるものがあります。その取り組みの名前は次のうちどれでしょうか？

ヒント→水マス(子ども版)・P13 (答え： )

A：洪水時水マネジメント B：平常時水マネジメント C：自然環境マネジメント

Q9-7 私たちの生活で使われて汚れた水は、下水管を通して下水処理場に集められ、きれいにしてから川や海に返しています。鶴見川流域には、下水処理場はいくつあるでしょうか？

ヒント→水マス(子ども版)・P13

A：3つ B：5つ C：7つ (答え： )

Q9-8 昭和40年～50年代に汚れてしまった鶴見川は、下水道の整備が進んだおかげで、水質はとてもよくなりました。現在、鶴見川流域では、どれぐらい人が下水道を使えるでしょうか？

ヒント→流域BOOK・P10

A：ほぼ70% B：ほぼ85% C：ほぼ100% (答え： )

Q9-9 下水処理場できれいになった水は、川に返すほかにも色々なところで使われています。例えば、横浜市・港北水再生センターできれいにした水は、ある場所でも使われています。さて、どこで使っているでしょうか？

ヒント→水マス(子ども版)・P13

(答え： )

A：日産スタジアム B：横浜スタジアム C：ニッパツ三ツ沢球技場

Q9-10 水マスの取り組みとして、私たちでもできることがあります。次のうちどれでしょうか？

(いくつでもOK) ヒント→水マス(子ども版)・P18・19

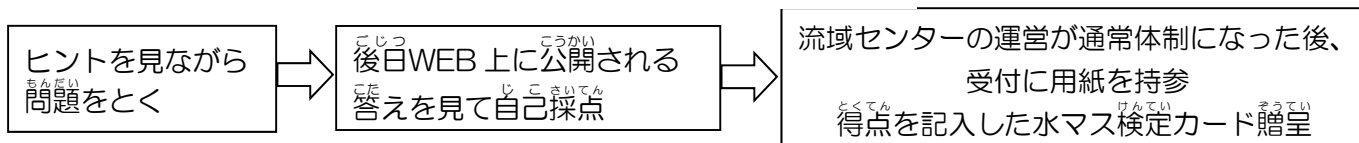
(答え： )

A：晴れている時に道路のそうじをして、大雨の時に水がつかまらないようにする。

B：田んぼや畑、家の庭の緑を残し、雨が地面にしみこみやすく、湧き水が増えるようにする。

C：水を大切に使い、汚れた水をなるべく流さないようにして、下水処理場の負担を減らす。

～水マス検定のやりかた～



※2020年5月～2021年2月の各月10問で100問 満点100点  
100点：1級 90点：2級 80点：3級 70点：4級 60点：5級  
50点：6級 40点：7級 30点：8級 20点：9級 10点：10級

2021年3月にセンターで、水マス検定認定証を発行